

EM活用交流会 in 牧之原

特集!震災地におけるEM活用を学ぶ

河川・海などの環境浄化活動や、安全安心の食糧生産・自然農法等に活用が進むEM(有用微生物群)。EM技術の開発者である比嘉照夫教授をお迎えし、東日本大震災におけるEM活用状況の報告、放射能対策をテーマに開催します。

浜岡原発が身近にある私達にとって、大変貴重な講演会となります。ぜひ御参加ください。

日時: **3月24日(土)13:00~16:30** (開場12:15)

場所: **総合健康福祉センター・さざんか (大会議場)**
静岡県牧之原市静波991-1 TEL 0548-24-0025

参加費: **無 料**

プログラム

- 13:00 開会挨拶
- 13:10 事例発表
「東日本大震災・被災地におけるEM活用状況」
NPO法人地球環境・共生ネットワーク(U-net) 運営委員 高橋比奈子氏
- 13:40 パネルディスカッション
「震災後の新しいまちづくり」
コーディネーター 地球環境・共生ネットワーク運営委員 高橋比奈子氏
パネリスト 名城大学教授・琉球大学名誉教授 比嘉 照夫氏
// 牧之原市長 西原 茂樹氏
- 14:40 休 憩
- 14:55 講演 「EM技術の最新情報」
講師:名城大学教授・琉球大学名誉教授 比嘉 照夫氏
- 16:15 質疑応答
- 16:30 閉 会

プロフィール

比嘉 照夫 (ひが てるお)

1941年12月28日沖縄県生まれ。琉球大学農学部農学科卒業後、九州大学大学院農学研究科博士課程修了。1970年に琉球大学講師として勤務。1972年に同大学助教授。1982年に同大学教授。2007年には同大学名誉教授となり、同年4月より名城大学教授及び国際EM技術研究所所長に就任。

「EM」を研究開発し、EMは農業・畜産・環境・建設・工業利用・健康・医学などの幅広い分野で活用され、現在世界150カ国以上に普及されている。また、「EM」は1997年1月発行の『現代用語の基礎知識』に「最新キーワード」として取り上げられ、学校はもとより多数の自治体で積極的な活用が進められている。

高橋 比奈子 (たかはし ひなこ)

- 昭和56年 日本大学芸術学部放送学科卒業
テレビ岩手報道制作局アナウンサー一部入社
- 昭和58年 同社退社、フリーアナウンサーとなる
- 昭和60年 プロアナウンサーネットワーク パネット入社
- 平成6年 パネット退社
- 平成7年 盛岡市議会議員に立候補 トップ当選となる
- 平成13年 NPO法人地球環境共生ネットワーク東北北部地区運営委員となる
- 平成17年 岩手県議会議員となる



主催/EM活用交流会実行委員会
共催/NPO法人 地球環境・共生ネットワーク (通称:Uネット)

「NPO法人 地球環境・共生ネットワーク」は、地球レベルの環境問題を解決するために、奉仕の精神に基づき広く具体的に行動し、社会に寄与することを目的として活動するNPOです。

問い合わせ先

EM活用交流会実行委員会事務局
〒421-0422 静岡県牧之原市細江2486番地5 (有)尾崎板金 内
TEL 0548-22-6652 FAX 0548-22-5316 E-mail:ozaban@ny.tokai.or.jp